

屋慶名(ヤキナ)

屋慶名の今昔

屋慶名はうるま市東方に位置し、金武湾に面している。屋慶名港は前に浮かぶ敷地島が太平洋の荒波を防ぐ天然の防波堤となり、船舶の出入りに都合の良い港となっている。かつては沖縄本島と奄美、徳之島などを結ぶ中継地として、また周囲の離島を結ぶ港として重要な役割を担ってきた。王国時代には番所が置かれ、古くから与勝地域における政治、経済、文化の中心地であった。

大正14年に発刊された『琉球』(沖縄懸教育会同人著)に「屋慶名は与那城村の主村であった。今も与勝方面に於ける賑やかな小さな町である」と記されている。屋慶名番所の庭にあったことはでさ(コバティシ)の枝振りの見事さは有名で歌に残されている。

「屋ケ名クワディーサーヤ枝持ちぬ美らさ屋ケ名みやらびぬ身持ち美らさ」

その名木も長年の風雨に耐えかねて倒壊し、現在の木は3代目という。今次大戦後の屋慶名は、屋慶名橋を起点にして大通り沿いに官公署をはじめ、いろいろな商店が軒を並べ、人の行き来も多く賑やかであった。あの頃の屋慶名の風景を思い起こすだけで懐かしく胸が熱くなる。

屋慶名方面から見ると金武湾洋上に浮かぶ浜比嘉・平安座・宮城・伊計・浮原・津堅などの島々は風光明媚で「沖縄の瀬戸内海」と呼ばれ、1965年「与勝海上政府立公園」に指定された。しかし、その後平安座島へのCTSの誘致、海中道路の建設、関連企業の進出によって指定が解除された。

勝連・与那城はエイサーどころとして全島に知られているが、屋慶名の華麗で勇壮な踊りは高く評価され海外へも派遣されている。

屋慶名地名の由来・語源・意味

屋慶名の地名の由来について「遺老説伝」によれば、古くは屋部村と呼ばれていたが、しばしば火災にあい、神告により名称を屋慶名にかえたら、以後火災はなくなったという。また「よなくすくの民話」に「昔、屋慶名の人たちは、敷地島に住んでいたら、いあまり火事が多いので今のところに移った。そのときに部落の名前をなんてつけようかということになって「ヤケルナ(焼けるな)」という意味でヤキナ(屋慶名)とつけた。」とある。

屋部村や敷地の話からして当初は屋慶名の村は敷地島にあったことが推測される。敷地島のすぐ眼前の屋慶名の地は敷地より農耕に適した土地であった。古代の農法は焼き畑による方法で敷地から移住してきた人たちはさかんに野山を焼き払いながら新開地を広げていった。

沖縄や奄美各地にある喜納・喜名・

屋慶名・知名などはこの焼き畑による開墾地を意味する地名である。屋慶名の意味については「ヤブチ式土器と屋慶名村の誕生」(仲地和雄・水野益継・編)は「この焼庭(ヤキナー)をば、燃えない(屋根)のしつかりした発展する(慶事)に充つる村として、すばらしい名称にし、〜」とある。

屋慶名は語源的には「焼庭」で、それが「火事」をイメージする「焼」の字を捨て好字と願いを込めて「屋慶名」に改称したことになる。また、奄美大島に「焼内」という地名(村)があったが、大正の頃に出火が相次いだので宇検村に改称している。

敷地島とヌー

敷地島は屋慶名港の目と鼻の先ほどに浮かぶ周囲4km余の小さな無人島である。ハブが多い島として知られているが、考古学的に注目されているのはヤブチ洞穴遺跡である。ここで発掘された土器はヤブチ式土器と命名され、約6600年前の縄文時代早期・前期の土器といわれている。

敷地島は、古い記録には「やぶつ嶋」「屋くつ島」とあるようにかつては「やぶつしま」と呼ばれ、対岸の安勢理・饒辺・屋慶名の3力村の人たちが船で渡り耕作したり、薪を取ったりしていた。

ヤブチ・ヤブツの「ヤフ(ブ)」の意味については、「産土神とする」とする説(鏡味完二)や「草木が多く茂りあつていふところ(広辞林・ニ季島)」

「荒地のことをヤブという(植原佑介)」などの説があるが、養父(兵庫県)や屋部(名護市)、また崖地を意味する「アブ」系の地名など合わせて検討する必要がある。

敷地島との間の海峡より深い海を「ヌー」と呼んでいるが、遺老説伝には「屋部津美由」とあり、その地形、位置、状況からして語源は「濡」と考えられる。濡とは船の通る深い水路のことである。ここには大和船沈没の伝説がある。特に一帯が波静かで晴れた日のときは神秘的な色彩をみせる。この屋慶名海峡の小高いところにヌーヤ(東ウーカン)と呼ばれる拝所があり、その前を船で通りぬけるときは頭のかぶりものをとって礼拝する姿を筆者が少年の頃に見かけた。

平安座島と屋慶名の間は遠浅で干潮時には徒歩で渡ることができた。その時、あちらこちらにできた海水の溜まりを「ヌー」と呼ぶ。又は文字通り「沼」の古語で水がたまる、澱むところをいい、また必ずしも水のたまったところだけではなく海の場合や湿地帯にもいう。

濡も沼も「水が溜まる、澱む」という状況や発音が似ていることから同義に解され、長い年月の間に「ヌー」になったと考えられる。

